

「かつて私は反核運動  
をしており、放射線が  
人体へ与える影響を世  
界に誤って発信してし  
まった。」

– George Monbiot  
*The Guardian* 誌 (2011年4月)



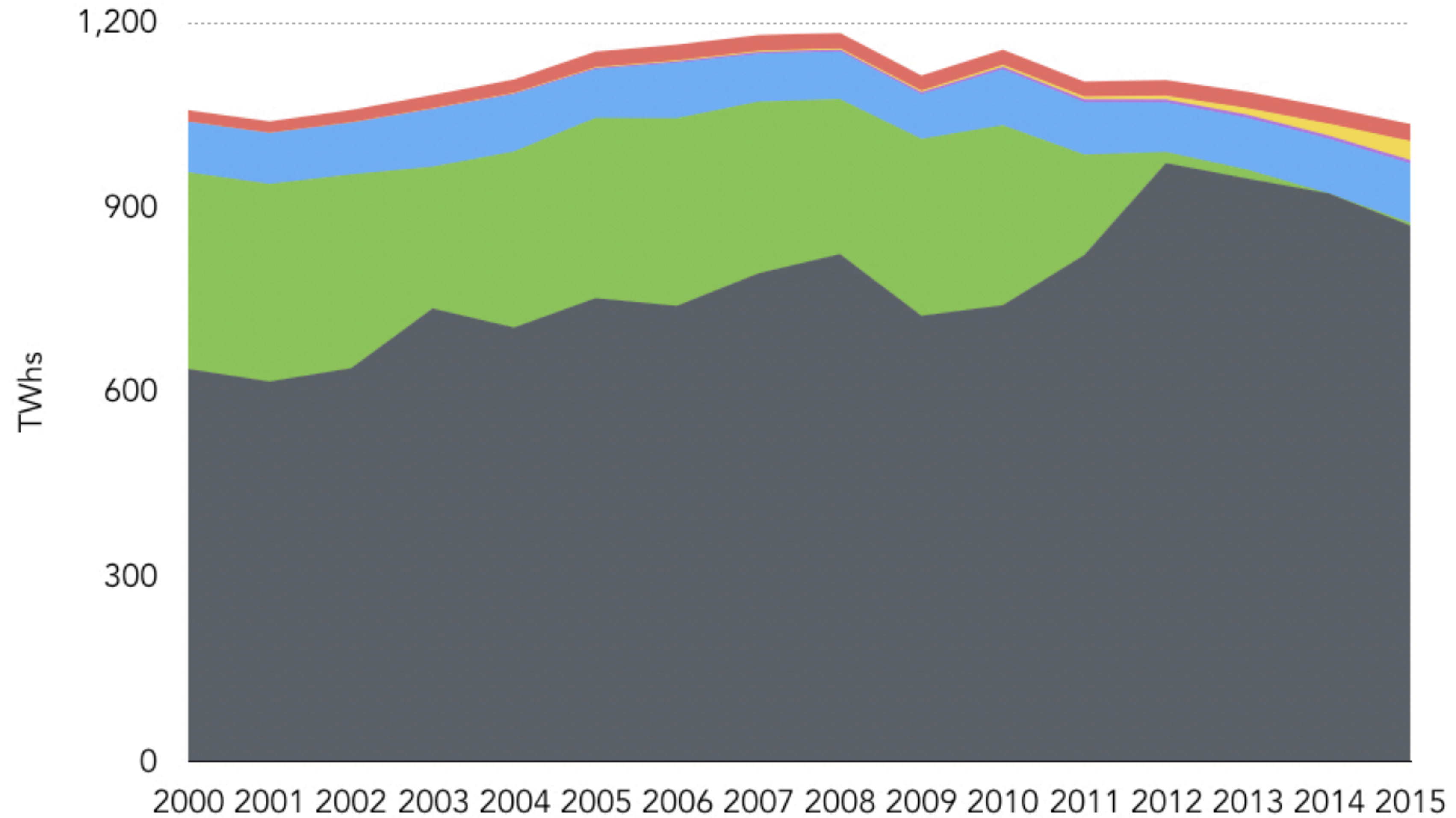








# 日本の電力量(2000-2015)

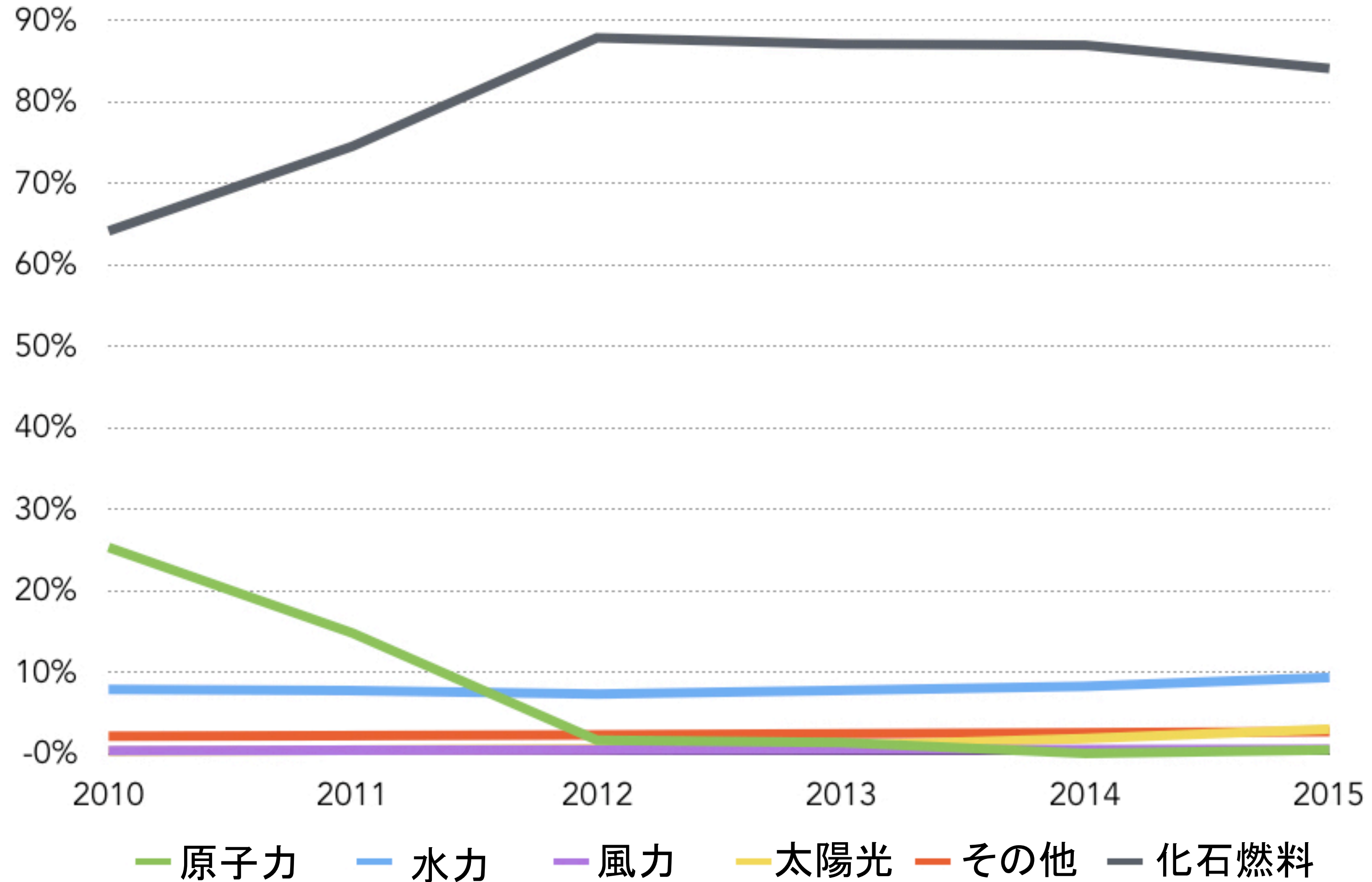


■ 化石燃料 ■ 原子力 ■ 水力 ■ 風力 ■ 太陽光 ■ その他の再エネ

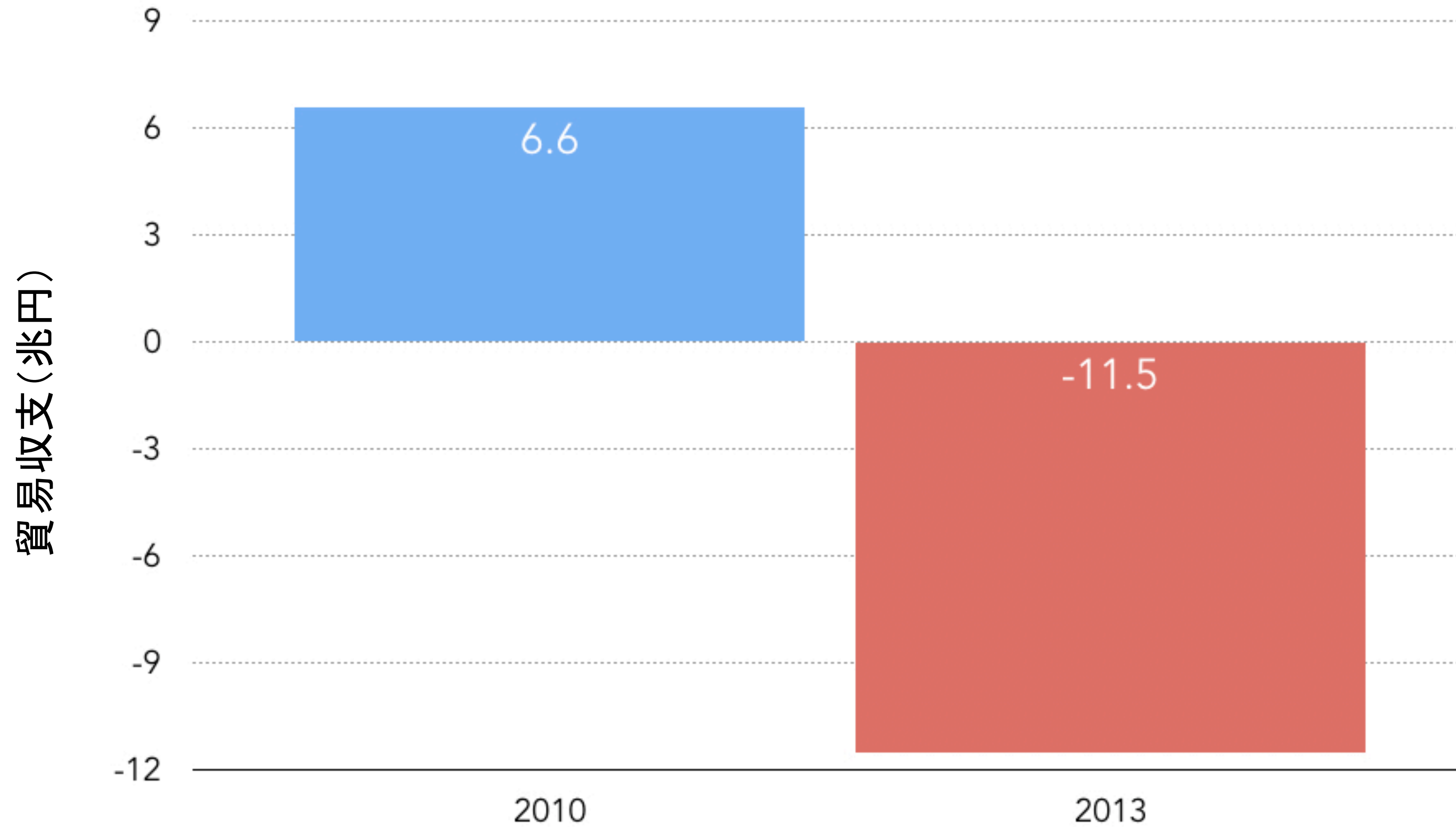


Source: BP Global Outlook 2016

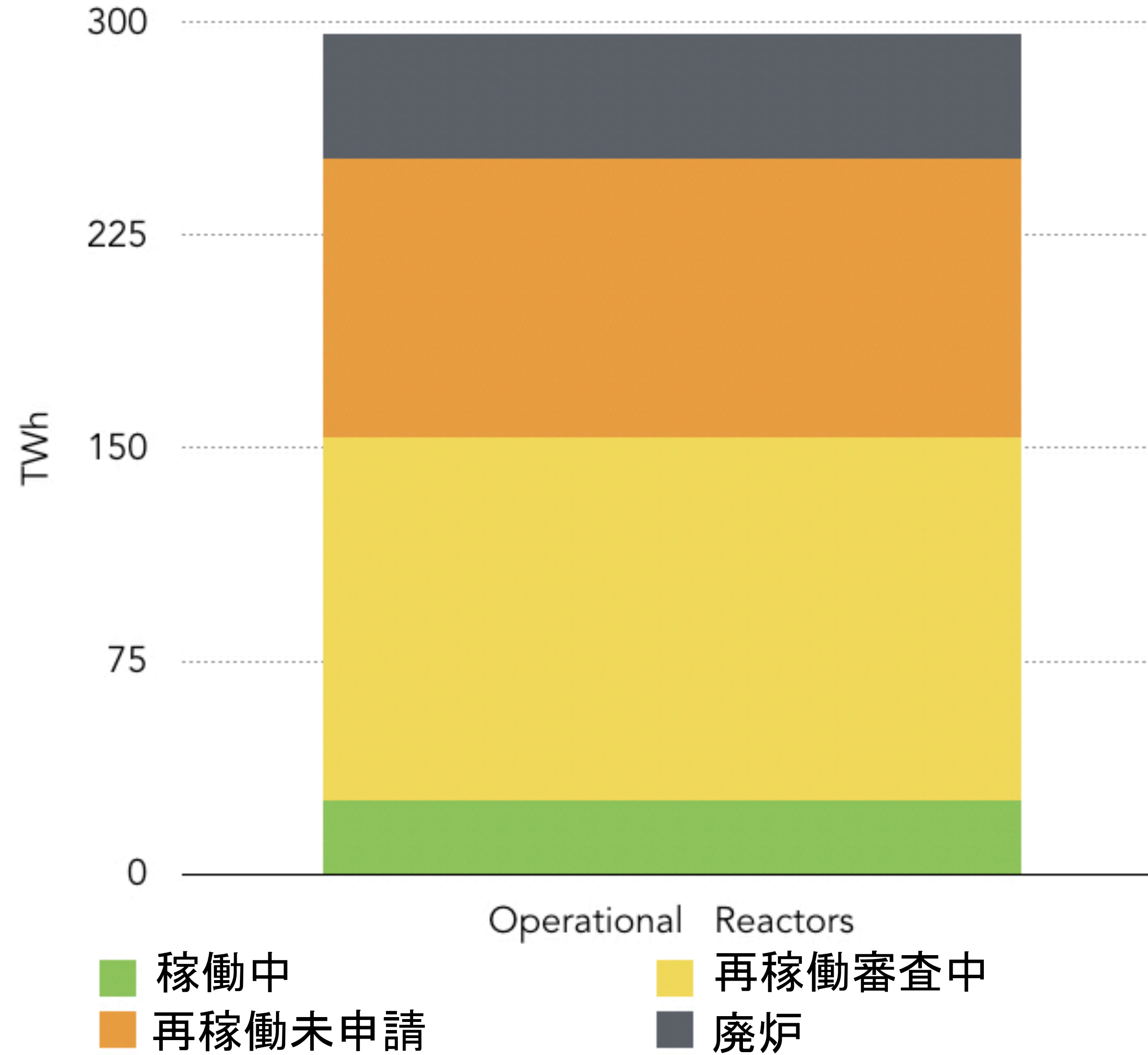
## 日本のクリーン電力シェア(2010-2015)



化石燃料の輸入増加により、  
2010年から2013年で、日本の貿易収支は黒字から赤字へ転落

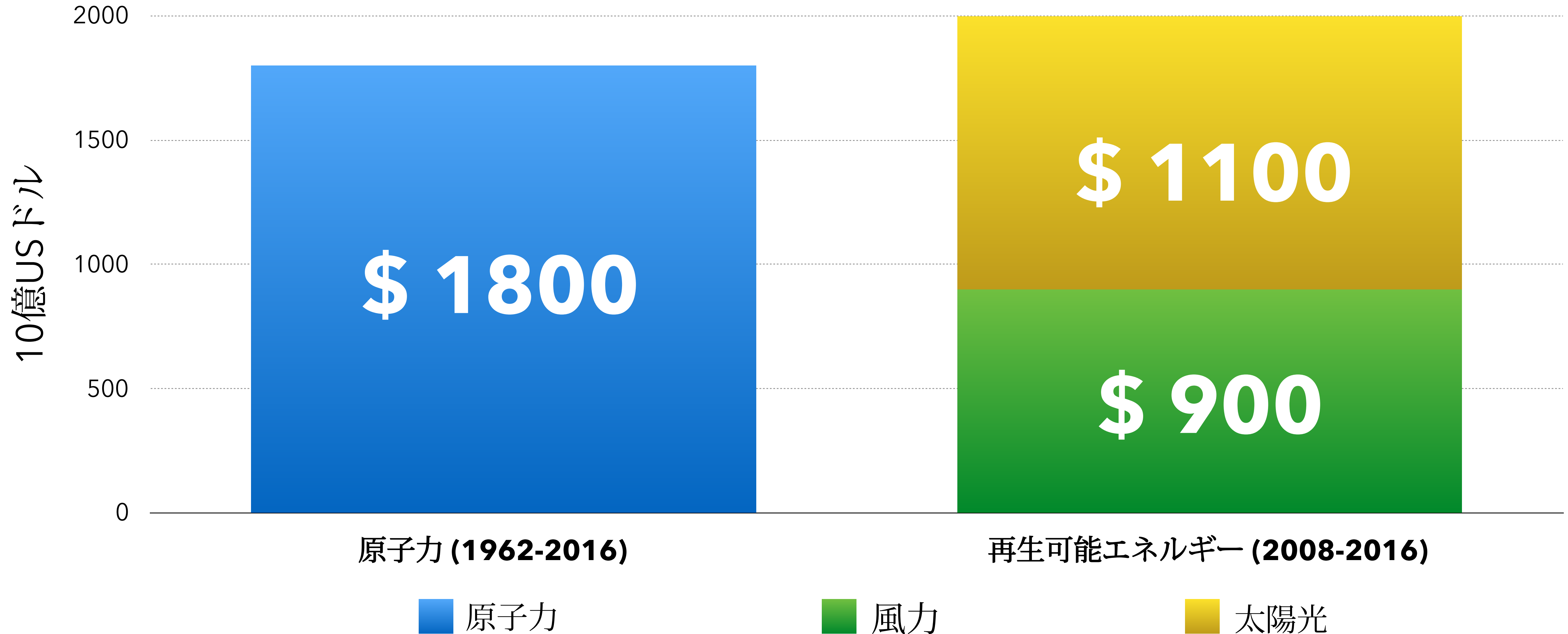


# 日本の原子炉の稼働状況と 福島事故前の発電量





# 「原子力」と「太陽光・風力」に対する 公的及び民間投資額はそれぞれ約2兆ドル



Source: Mark Nelson et al., "The Power to Decarbonize," EP, November 2017

Based on Bloomberg New Energy Finance, 2017; Lovering et al., "Historical Nuclear Construction Costs," *Energy Policy*, 2016 14



# ニューヨークタイムズ紙

風力と太陽光は前進する一方、  
炭素排出は後退せず(2017/11/7)



太陽光発電

世界中の政府関係者が、気候変動枠組み条約締約国会議（COP23）の為、今週ドイツのボンに集まった

エンバイロメンタル・プログレスは、1965年  
以来68カ国においてエネルギーのカーボン  
インテンシティ(CO2排出原単位)の進捗分  
析を行ってきた。  
その結果、太陽光と風力の増加と、カーボ  
ン・インテンシティとの相関関係は見つけられ  
なかった(再エネ容量の増加にも関わらず、  
カーボン・インテンシティに変化は見られな  
かった)。